インドで病院の省エネ実証

エネルギー最適化や安定運営図る

日立製作所

日立製作所と日立インド社は、インドで病院の省エネを推進する「ICT活用型グリーンホスピタル実証事業」に参画する。同事業では、病院内のITシステム環境を整備し、高効率なシステム・設備に更新する。施設全体のエネルギーの使用状況を可視化し、全体のエネルギー使用を最適化することで省エネ化を図る。

同実証事業では、病院に太陽光発電システムや蓄電池、高効率空調などを導入。既存設備も含め、病院設備の最適な運転制御を行う。最適な制御により、エネルギー使用量削減を図るとともに、電力供給が不安定な場合でも施設を運営できるよう、安定的に電力を供給する。

実証では、膨大な医療データの管理にも取り組む。ストレージ・サーバやITシステムを導入し、膨大な医療データを効率的に運用・管理しながらITシステムの消費電力削減を図る。

病院のITシステムの情報とエネルギーマネジメントシステムは、連動させる方針。データベースや病院の運営状況をもとに日々のエネルギー使用量を予測し、ユーティリティ設備の最適運転を図る。

インドでは、慢性的な電力不足と施設の老朽化が進んでおり、病院でも設備の老朽化により、エネルギー使用効率が低い状態が続く。インド保健家族福祉省は、同国最大の国立医科大学（AIIMS）を省エネ性に優れた病院のモデルとしており、日立が同事業に参画する。10月まで調査を行い、調査結果に応じて事業計画案をまとめる予定。

イメージパース（日本工営提供）

ミャンマーで橋梁工事受注

輸送改善と経済発展に期待

東急建設

東急建設は、ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市内の橋梁建設工事を東洋建設・IHIインフラ建設JVとして受注した。

建設を受注したのは、日本のODA（政府開発援助）案件として、同国建設省の公共事業局が発注する「ヤンゴン市新タケタ橋建設計画」。

工事延長は620㍍で、このうち橋梁部分は253㍍。構造形式はPCエクストラドーズド橋を想定。鋼管矢板井筒基礎を採用し、場所打杭が内径1000㍉、鋼管杭は同1200㍉となっている。工期は15年4月から18年2月までの約35か月を予定している。

同橋梁が完成することで、物流・旅客時間の短縮が図られるほか、輸送コストの削減、地域住民の生活改善、ヤンゴン都市圏および同国全体の経済発展に貢献するなどに期待がされる。

業界動静

日本建築あと施工アンカー協会（山本忠男代表理事）は、事務所を移転する。

▽新住所＝〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目6番9号 アルテビル東神田Ⅱ4階▽電話＝03・3851・6358（変更なし）▽FAX＝03・3851・6378（変更なし）▽業務開始日＝4月13日

人事 機構改革

東日本建設業保証

（4月1日）新宿支店長（経営企画室付次長）植原陽一▽岩手支店長（経理部次長兼財務課長）丹野守雄▽福島支店長（岩手支店長）高橋秀明▽埼玉支店長（新宿支店長）勝又義人▽福井支店長（営業部次長兼営業第2課長）山内和巳▽岐阜支店長（総務部次長兼人事課長）荻野昌孝▽総務部人事課長（静岡支店次長）田村浩志▽経理部財務課長（新潟支店次長）鈴木誠▽営業部営業第2課長（栃木支店次長）森幸祐▽営業部付課長（埼玉支店担当次長）猪瀬京一

大林組

（4月1日）神戸支店姫路営業所長兼務、神戸支店営業部副部長 坂口修

りんかい日産建設

（3月31日取締役、中村彰利▽同、荒木秀輝▽同、川本明▽同、浜田康彦▽非常勤監査役、櫻井俊典▽非常勤取締役、河本茂行▽常任顧問（取締役常務執行役員）天本哲二▽同（同執行役員東京土木支店長）天野秀▽退任（非常勤監査役）八木清文▽同（同）岩崎理也

（4月1日）常務執行役員技術担当（常務執行役員北海道支店長）宮本義憲▽同建築事業部長（執行役員建築事業部長）長谷田進▽同東北土木支店長（同土木事業部長）塚本喜之▽同九州支店長（同九州支店長）山田雄司▽執行役員建築担当（建築事業部顧問）荒井忠二▽同東京建築支店長（東京建築支店長）前田祐治▽同水戸支店長（水戸支店長）永山健次▽同土木営業担当（土木事業部営業第一部長）佐藤幹男▽同経営企画部長（経営企画部長）村崎善道▽土木事業部長（土木事業部企画部長）大下英治▽北海道支店長（東北建築支店長）家村則行▽東北建築支店長（東北建築支店営業部次長）寺本義幸▽土木事業部副事業部長（技術担当）九州支店長（土木事業部総合評価積算部長）平山久▽同総合評価積算部長（大阪支店総合評価積算部長）柳澤保▽建築事業部購買部長（西日本ブロック担当）（建築事業部購買部長）土井俊証▽同（東日本ブロック担当）（同購買部次長）菅野宏樹

協和エクシオ

（4月1日）キャリアビジネス事業本部KDDI営業本部第二営業部門長、窪頭匡之▽ICTソリューション事業本部ソリューション推進本部副本部長兼グローバルビジネス推進部門長、中山一平▽ICTソリューション事業本部新エネルギー推進本部R&D部門長、金井康通

新日本空調

（4月1日）執行役員東京支店長兼関東支店管理部長（執行役員新日空サービス代表取締役社長）本多豊▽都市施設事業部副事業部長兼都市施設事業部管理部長（都市施設事業部副事業部長兼都市施設事業部営業一部長）野田英勝▽同兼都市施設事業部技術一部長（同技術部長）江連康明▽同技術二部長（同技術部技術四課長）小川雅樹▽関東支店副支店長兼関東支店営業部長）天池隆仁

新菱冷熱工業

【機構改革】（4月1日）管理本部管理部を廃止し、管理本部総務部、管理本部経理部、管理本部情報システム部を新設する。

【人事】（3月31日）退任（社外取締役）樹神幸夫▽同（コンプライアンス推進室長、経営企画部長）焼田克彦

（4月1日）社外取締役、三菱重工業執行役員御子神隆▽管理本部総務部兼コンプライアンス推進室長（管理本部管理部長）坂部彰▽同経理部長（経営企画部専任部長）森岡茂夫▽同情報システム部長補（管理本部管理部次長）宮崎保典

◆三機工業 長谷川 勉社長

皆さんも、集合研修の後には、各部門の「プロフェッショナル」として日々成長していくことと思う。一日も早く、「技術の三機」の「人財」として会社の発展に貢献して欲しい。当社は今月22日に創立90周年を迎える。皆さんは節目の年に入社された。次の大きな節目である100周年にはそれぞれの部署のリーダーとして活躍されていることと思う。この90年の尊い絆を次の「100年へのかけ橋」としてグループみんなで「結束」して頑張っていこう。

◆ジョンソンコントロールズ マーク・カトラー社長

日本法人は創立以来、安定した経営で長く成長を続けている。拡大する市場ニーズへの対応ときらなる成長を達成するため、今年は例年の約2倍となる新入社員を採用した。ダイバーシティ、ワークライフバランスのさらなる向上にも積極的に取り組み、働き続けたい職場を目指している。充実した育成プログラムで従業員のキャリア・デザインをサポートする。チャレンジ精神を忘れず、ともに成長を続けよう。

◆新日本空調 夏井 博史社長

会社生活の中で覚えて欲しいことを2つお話しする。1つは、「社会において信用が如何に大切か」ということ。「人」としての信用を失ってしまうと、取り戻すことは、至難の業。ビジネスでは、あなたという人が信用に値する人物かどうか、相手にとって最大の関心事。2つ目は、「与えられた仕事でプロ、第一人者を目指す」ということ。目の前の仕事に一生懸命取り組んでほしい。自分の置かれた場所で仕事の「肝や勘所」を学ぶことで、必ず自分自身の成長を実感できるようになる。

◆住友電気工業 松本 正義社長

社会や経済の動向には常に関心を持ち、仕事に取り組む中で、何が課題か、どうすれば解決できるかなど、普段からいろいろなことに問題意識を持って取り組んでもらいたい。そして仕事に臨む際は、自分の実力よろい一段高い目標を設定し、達成に向けて努力を惜しまないことが大切。皆さんの職場には経験豊富な上司・先輩などがたくさんいるので、時には先輩たちの知恵を借りながら、経験を積み重ねていってもらいたい。

◆大気社 上山 悟社長

お客さまのニーズに応えた競争力のある提案ができるプロになってもらいたい。そのためには、何が課題で、どんな成果を示せばよいか、どんな方策をとればよいか常に自問自答し、仕事に取り組むことが大切だ。皆さんには、これから多くの出会いや発見、学びの機会があることだろう。当社を支えているグループ会社の方々に、尊敬と愛情を持ちながら、若々しくオープンな気持ちで、たくさんのことにチャレンジしてほしい。

◆ダイダン 北野 晶平社長

ダイダンは、時代の変化に対応して技術革新や新技術の開発を進め、新たな発展に向けて全社一丸となって頑張っている。皆さんの若い力、柔軟な発想とチャレンジ精神を加え、5年後そして10年後の希望に満ちた明るい「ダイダン」の実現を皆さんと共に目指したい。「コンプライアンス」「応用を考える」の2つのキーワードを頭において、どこでも通用する社会人に成長してくれることを心から期待する。

◆高砂熱学工業 大内 厚社長

当社は、創立100周年を目指した長期ビジョンを掲げ、昨年度から3か年の中期経営計画をスタートした。当社が持つ「環境ソリューション技術」をグローバルに展開し、世界の国々に貢献していく。社是や経営理念を具現化するのは皆さんであり、皆さんが当社の財産である。一日も早く成長し、活躍されることを期待している。「知行合一」すなわち知識を吸収して増やしていくとともに、その知識を実践するよう努力をお願いしたい。

◆東光電気工事 馬田 榮社長

大正12年に創業した当社は、今年92年目となる。永年諸先輩が培ってきた信頼という大切な基盤の上にあることへの感謝を忘れないで欲しい。しかし我々を取り巻く環境と時代のニーズは、近年めまぐるしく変化している。時代に即して何事にもチャレンジする「勇気」、自己鍛錬を怠らない「努力」、支え、励まし合う「協調」、それらを体現する良き「東光マン」、となって、未来へバトンを繋いで行ってくれるよう、大いに期待する。さあ、共に悩み、共に乗り越え、共に笑おう。

◆東芝プラントシステム 松川 良社長

会社を代表し、心から歓迎の意を表する。将来に夢を持ち、明るい未来を信じながら今日の気持ちを忘れずに仕事をして欲しい。いろいろな経験の中でなぜ成功したのか失敗したのか分析し、次に活かせる形で納めて欲しい。東芝プラントシステムは、皆さんが活躍する場を提供できる。しかし、そこで活躍できるかどうかは努力にかかっている。高い目標を持ち、有言実行で結果を出してほしい。

◆東洋熱工業 芝 一治社長

皆さんには、「自立した人材」、「責任ある人材」、「信頼される人材」、「バイタリティあふれる人材」の四つを提案し、一日も早く成長され当社の中心として活躍することを心から期待している。皆さんを含め社員全員の力で、より一層信頼される東熱、活力と勇気溢れる東熱を築いていきたいと思う。

◆日本オーチス・エレベータ ステファン・ドモントリオール社長

日本オーチスで仕事をしていく時に4つの価値を決して忘れてはならない。1つ目は安全。安全はすべてに優先する。2つ目は正直で誠実であること。仕事をする上のジレンマに出くわしても正直で誠実な態度で臨んで欲しい。3つ目はチームワーク。尊重と助け合いを通じて今よりもっと良い環境が作り出せる。4つ目は品質。よりよい品質にこだわって追求し続けてほしい。皆さんと一緒に仕事をする日を楽しみにしている。

◆日本電設工業 江川 健太郎社長

当社は本日から、新しい経営計画をスタートさせた。過去に取り組んだ成果をもとにさらに経営基盤を強化して持続的成長を目指すことにしている。新入社員にはこれから様々な研修を行っていくが、絶えず変化する環境に対応して自ら考え行動できる人材として成長するよう努力を続けてほしい。そして、同期の仲間とも仲良く切磋琢磨して成長し、充実した人生を送るとともに日本電設工業の持続的な発展に寄与してほしい。

◆日立製作所 東原 敏昭社長

日立製作所は、常に新しい分野へ挑戦し続けてきた。このような歴史の中で「和」「誠」「開拓者精神」という創業の精神が受け継がれているので、皆さんにも理解し、共有してほしい。日立は、人々の生活を豊かにする社会イノベーション事業をグローバルに展開している。グループが一丸となって最適なソリューションを提供するためには、それぞれの専門領域で技術・ノウハウ・知見を結集することが不可欠。皆さんにもその一翼を担ってほしい。

◆日比谷総合設備 野村 春紀社長

皆さんに次のことをお願いしたい。1つ目は、『失敗を恐れずに様々なことにチャレンジしてほしい』ということ。2つ目は、『コミュニケーション』。3つ目は、『守るべきルールはきちんと守る、そして自分の行動に対しては責任を持つ』ということ。当社には『時代にまっすぐ、技術にまじめです』というブランドメッセージがある。皆さんの胸にもしっかりと刻んでほしい。皆さんのエネルギーで素晴らしい未来を切り拓いていくことを期待する。

◆オエンタルコンサルタンツ 野崎 秀則社長

今日より我が社の一員になった皆さんには、ぜひプロフェッショナルを目指してもらいたい。プロフェッショナルとは、社会や顧客の期待を超える価値を提供し、社会貢献し続ける人材。そして、その基本となる力は、技術力とマネジメント力であり、その2つの力を駆使して成果を最大化するための推進力が、〝情熱〟であると考える。プロフェッショナルな〝情熱人材〟としての成長と活躍を期待している。

◆建設技術研究所 村田 和夫社長

建設コンサルタントの仕事は、調査・計画・設計業務に加え、効率的な社会資本の維持管理と更新、アジアを中心にした国際市場への貢献、発注機関である国や地方自治体の技術者の減少や技術力を補うための支援が強く期待されている。それには新しい技術、能力が必要。さらに、技術競争によって、企業と技術者の「技術と成果」が適正に評価され、経営に優れた企業、そこで働く優秀な技術者が活躍できる時代となりつつある。

◆長大 永治 泰司社長

インフラ整備は、人が人らしく生活するのに最も重要なことの一つであり、そこに皆さんがこれから活躍するということは、取りも直さず、皆さんがこれからの世界の平和と、災害に対する安心をさらに強固にしていくということに他ならない。皆さんは、我々の職業にそういう自負を持ってほしい。また、皆さんがこれから携わる仕事は、こんなにすばらしいことなのだということを世間に知らしめられる人間に成長していって欲しい。我々の職業が尊敬され憧れられるものとなるようみんなで努力していこう。

◆パシフィックコンサルタンツ 高木 茂知社長

創業時から綿々と受け継がれている、社会のため、人類の幸福のため、常に新たな領域に挑戦し続けるというパシコン・スピリットを体現するメンバーとなって欲しい。国内外の社会環境が大きく変動する中、社会から評価される企業となるために、我が社の強みであるコンサルタント力に加え、政策力・企画力・実行力を育み、未知の領域に挑戦しよう。一人ひとりが日々の歩みだけに捉われず、夢の実現に向けて地に足をつけた歩みを、楽しみながら継続されるよう願う。志を持ち、覚悟をもって既存の枠組みを乗り越えていこう。

◆コベルコクレーン 塚本 晃彦社長

何事にも真正面からぶつかる。結局はそれが職務遂行能力を高め、周囲から信頼も得て、またその事で自信もつけと、自己を高める意味では最善。一方で、会社にとっても仕事は勿論円滑に遂行されるし、組織においても妙な隠し事のない健全な組織風土が形成され、最善。愚直に、地道に、一歩ずつ、真摯に、妙なハウツー的な物を求めない、といった言葉になる。何れにせよ真正面からぶつかる事を信条として欲しい。

◆コベルコ建機 藤岡 純社長

「価値創造」と「差別化」がコベルコ建機の生命線。企業に文化や風土があるように、新入社員の皆さん方にもそれぞれ個性や秘められた能力があるはずで、そこを強くすることを望んでいる。企業の価値は、企業が生み出す付加価値とその源泉となる人間力で決まる。個々人が、期待に対しどう応えるかを常に考え、行動に反映してくれると、近い将来きっとトップ企業との逆転の機会が訪れると信じて疑わない。それぞれが持つ若いエネルギー、バイタリティ、新鮮な感覚、発想力を個性豊かにコベルコの事業活動の中で生かしてくれることを期待している。

◆コマツ 大橋 徹二社長

社会人となる皆さんには、自分自身の夢を持ち、その実現に向けて自分の強みを磨いてもらいたい。そのためにも、まず一芸に秀でてほしい。また、これからどんな仕事についても、わからないことは、恥ずかしがらずにどんどん人に聞いてもらいたい。現場で現物を見て、現実をデータで確認する癖をつけることが必要だ。成功と失敗の違いは途中で諦めるかどうかだ。諦めなければ成功に導いてくれる。皆さんも一人ひとりが何よりも安全・健康第一で、コンプライアンスを徹底し取り組んでいって欲しい。

◆日立建機 辻本 雄一社長

これから一緒に働く仲間一人ひとりの価値観や個性の違いを受け入れ、認め、多様性を尊重する姿勢、すなわち「ダイバーシティ」の考え方を身に付けること。その上で、国際的な感覚を持って、常に新しいものを吸収しようという姿勢で何事にも取り組み、国際社会で通用する人間になってほしい。人間に幅の広さや深みができてこそ、本当の生き甲斐を持って、充実した生活を送ることができ、結果としてこれが良い仕事にもつながる。

◆三協立山 山下 清胤社長

皆さんにお願いしたいことが2点ある。1つは、信用される信頼される人材になって欲しいということ。これは、当社の創業者が大切にしてきたことであり、経営理念にもつながる。もう1つは、配属後に自分の目標とする先輩、上司を見つけて欲しいということ。目標とする先輩、上司を見つけて、将来的な自分の目指す姿を明確にして欲しい。自分自身の目標と会社の方向が一致していれば、社会人としても有意義な生き方ができる。今後の皆さんの活躍を期待している。

◆三和ホールディングス 高山 俊隆会長

三和グループは、「安全、安心、快適を提供することにより社会に貢献します」を使命として掲げ、グローバル企業として発展を続けている。この「使命」は何事においても優先されるもので普遍。皆さんがグループの一員になるに当たり、この使命を常に心に留めて欲しい。そのためには、三和グループにおける仕事の進め方の基本であるPDCAサイクルをしっかりと廻せる体質作りに励まなければならない。皆さんが社会に貢献されること、そして、長い人生が仕事を通して豊かになることを期待している。

◆住友大阪セメント 関根 福一社長

セメント供給を通じて、人の命と財産を守り、安心・安全かつ更に豊かな社会の実現に寄与することを信じ、社員一丸となって邁進している。それが当社の社会的使命であり、誇りである。先輩たちが築き上げてきた歴史と伝統のある住友大阪セメントの社員であることを常に意識して、高い志と誇りをもって、そして何事もあきらめず、やり遂げる気概をもって、明るく元気に邁進していくことを期待している。

◆日立建設設計 亀井 忠夫社長

「ものを創り出す」こと、その苦労と楽しみを皆さんと分かち合いたい！当社は、本当に素晴らしい多様な人々が集まっている組織だと感じます。先輩にいろいろ聞いて、プロフェッショナルとしての基礎を築いてください。従職員の個々の力が足し算ではなく、掛け合わせ、いや累乗的に発揮されることで、今までにないプロフェッショナルファームとして飛躍したいと思います。新しいセンスをもった皆さんの活躍を期待しています。

◆三菱地所設計 大内 政男社長

多様な価値観を持つ人々や絶えず変化し続ける社会の中でも、常に顧客・社会から信頼・信用される存在になってほしい。私たちの仕事は高度な知識や技術の応用力はもちろん、相手の立場に立って考え、コミュニケーションを通して顧客・社会の要求を的確に理解できる鋭い感性が必要である。最高のプロフェッショナルを目指し、専門分野だけでなく幅広いグローバルな視野と知識を身に付けるよう、日々研鑽を積んでほしい。

◆JFEエンジニアリング 狩野 久宣社長

仕事は、楽な上に面白いなんてことは有り得ない。苦しいのが当たり前。だからこそ面白くやりがいがある。トラブルが発生する、「この忙しいのにやってられない」と思うか、「よし、原因を見つけて改善してやろう」と思うか。私は苦しい局面を何とかしてやろうと、プラス思考で乗り越えてきた。その方が断然仕事を楽しめるし、結果を残すことができる。どんな仕事でも、まずは一所懸命取り組んでもらいたい。その中でやりがいを見つけ、感動を味わって欲しいと思う。

◆日立造船 谷所 敬社長

当社は、海外事業の加速的展開を図っている。市場があるところへは世界中にどこにでも進出していく。世界中のどこにおいても仕事ができる、プロになるには、会社に必要な知識、能力を身に着け、仕事力を持った、仕事人になること。皆さんは、パソコンや英語などのツールを学んでいくが、TOEICで高得点をとることは、仕事のツールであり、仕事力が身につくのではない。与えられた仕事に全力で取り組み、キャリアを重ね、深く幅広い多能的な人材になって欲しい。

◆住友不動産 仁島 浩順社長

皆さんには、1万人を超える当社グループの成長力を支える人材として大いに期待している。時代や前提条件は常に変わる。前例踏襲、コピーアンドペーストはもはや通用しない。過去の経験や実績に安住せず、常に白紙からものを考えることが肝要。自分の頭で考え、自分の言葉で書く、語るということ。是非これを肝に銘じ実践してほしい。当社のモットーである「快活な気風」で、これからも一緒に頑張っていこう。

◆三井不動産 菰田 正信社長

皆さんに期待することは、心がけて欲しいことは5点。まず「自立した個人」になること。2つ目は、「幅広い視野を持つ」こと。3つ目は「チャレンジスピリット」。4つ目は「健全な心身を保つ」こと。最後は「社会人としてのコモンセンスを持つ」こと。不動産業は、社会的意義が大きく、人々に夢と感動与えられる産業。三井不動産グループが魅力あふれる企業グループであり続け、今後もたくましく成長していけるよう、共に頑張ろう。

◆三菱地所 杉山 博孝社長

当社には原点、三菱三綱領（所期奉公・処事光明・立業貿易）がある。その中で、当社グループの基本使命「まちづくりを通じて社会に貢献する」は全ての社員に求められており、デベロッパーは大切な「社会の資産」を扱い事業を行っていることを心に留めておいて欲しい。インテグリティ・コンプライアンス、チャレンジ志向・イノベーティブ、グローバル、アズワンチームの4点を大切にして欲しい。

◆三菱地所レジデンス 小野 真路社長

三菱社の時代から引き継がれてきた経営理念「三菱三綱領（所期奉公、処事光明、立業貿易）」を皆さんも受け継ぎ、大切にして欲しい。初めのうちはできないことばかりで、わからないことも出てくるだろう。わからないことはまず調べ、自分なりの考えを持ってから、多くの経験を積んでいる先輩に聞く。そういったプロセスを繰り返すことで、実力をつけ成長していくことを期待している。人間関係、交流を大切にし、自身の能力を磨きながら頑張って欲しい。

◆積水化学工業 高下 貞二社長

〝一隅を照らす〟という言葉がある。置かれている持ち場でベストを尽くし、小さな成果で良いから積み重ねてほしい。それぞれの持ち場で、なくてはならない人になってほしいと思っている。あなたが光れば、あなたの隣も光る。小さな光が集まって街は光り、社会も光る。やがて日本、世界、地球を照らす。積水化学グループを大きく照らすと確信している。まずは〝一隅を照らしてほしい〟。

◆TOTO 喜多村 円社長

皆さんにお願いしたいことは「change」。世の中が変わっていく中で、それに合わせてTOTOグループも変わっていかなければいけない。皆さんには、新しい視点・発想でどんどん提案して、変えていって欲しい。自分がどうありたいか、どうしたいのか、1つ1つに意志を持った自律人財を目指し、20年後・30年後も、良い会社・誇りに思えるTOTOグループを目指していこう。

◆三菱樹脂 姥貝 卓美社長

仕事の領域で乗り越えられそうにない位の厚い壁にぶつかることは必ずある。眼前の事実から逃げず、前を見て課題を解決していく姿勢が大切。難しい課題から逃げたり、放置せず正攻法で立ち向かっていく。沖からやってくる波にサーフボードを漕ぎ出していくような勇気と挑戦意欲を失わなければ必ずチャンスの波を見極められるようになる。正面から立ち向かう姿には必ず社内で応援者がでてくると信じて、堂々とした会社人になってもらいたい。

◆三菱マテリアル 竹内 章社長

当社は炭鉱・鉱山業に始まり、時代の要請にあわせ幾多の変遷を経てきた創業140年を超える歴史ある企業。この長きに亘る歴史を踏まえ、当社は『人と社会と地球のために』という企業理念を定めている。これは、さまざまな事業活動を通じて、人々の幸福な生活、社会の持続的な発展、循環型社会などへ貢献することを表現したもの。皆さんも、このような当社の歴史、社会的役割、高度な知識や技術の応用力はもちろん、相手の立場に立って考え、コミュニケーションを通して顧客・社会の要求を的確に理解できる鋭い感性が必要である。最高のプロフェッショナルを目指し、専門分野だけでなく幅広いグローバルな視野と知識を身に付けるよう、日々研鑽を積んでほしい。

◆LIXIL 藤森 義明社長

皆さんは、これまでのLIXILの歴史の中で、最もエキサイティングで大きな飛躍を迎える時期に入社する。LIXILは、浴室・水栓金具の事業では世界第1位の会社。ここ日本では、住生活の「トータル・ソリューション」を提供できる業界唯一無二の会社。皆さんには、英語をマスターすること、世界を見ること、デジタルのプロになることの3つを行ってほしい。一緒に働くことを楽しみにしている。

◆YKKAP 堀 秀充社長

YKKAPは、皆さんの成長に支援を惜しまない。"3年で一人前"になれるよう、早く仕事に慣れて、一緒に持続的成長をしよう。もし迷うことがあったら、YKK精神（哲学）の「善の巡環」を行動規範として立ち返って欲しい。私は新入社員の皆さんに、自分自身に付加価値をつけることを考え、どんどんアイデアを出して欲しいと思っている。大きな目標に向かって、チャレンジすることを共に楽しみましょう。

◆日建設計 亀井 忠夫社長

「ものを創り出す」こと、その苦労と楽しみを皆さんと分かち合いたい！当社は、本当に素晴らしい多様な人々が集まっている組織だと感じます。先輩にいろいろ聞いて、プロフェッショナルとしての基礎を築いてください。従職員の個々の力が足し算ではなく、掛け合わせ、いや累乗的に発揮されることで、今までにないプロフェッショナルファームとして飛躍したいと思います。新しいセンスをもった皆さんの活躍を期待しています。

◆三菱地所設計 大内 政男社長

多様な価値観を持つ人々や絶えず変化し続ける社会の中でも、常に顧客・社会から信頼・信用される存在になってほしい。私たちの仕事は高度な知識や技術の応用力はもちろん、相手の立場に立って考え、コミュニケーションを通して顧客・社会の要求を的確に理解できる鋭い感性が必要である。最高のプロフェッショナルを目指し、専門分野だけでなく幅広いグローバルな視野と知識を身に付けるよう、日々研鑽を積んでほしい。

◆JFEエンジニアリング 狩野 久宣社長

仕事は、楽な上に面白いなんてことは有り得ない。苦しいのが当たり前。だからこそ面白くやりがいがある。トラブルが発生する、「この忙しいのにやってられない」と思うか、「よし、原因を見つけて改善してやろう」と思うか。私は苦しい局面を何とかしてやろうと、プラス思考で乗り越えてきた。その方が断然仕事を楽しめるし、結果を残すことができる。どんな仕事でも、まずは一所懸命取り組んでもらいたい。その中でやりがいを見つけ、感動を味わって欲しいと思う。

◆日立造船 谷所 敬社長

当社は、海外事業の加速的展開を図っている。市場があるところへは世界中にどこにでも進出していく。世界中のどこにおいても仕事ができる、プロになるには、会社に必要な知識、能力を身に着け、仕事力を持った、仕事人になること。皆さんは、パソコンや英語などのツールを学んでいくが、TOEICで高得点をとることは、仕事のツールであり、仕事力が身につくのではない。与えられた仕事に全力で取り組み、キャリアを重ね、深く幅広い多能的な人材になって欲しい。

◆三菱地所 杉山 博孝社長

当社には原点、三菱三綱領（所期奉公・処事光明・立業貿易）がある。その中で、当社グループの基本使命「まちづくりを通じて社会に貢献する」は全ての社員に求められており、デベロッパーは大切な「社会の資産」を扱い事業を行っていることを心に留めておいて欲しい。インテグリティ・コンプライアンス、チャレンジ志向・イノベーティブ、グローバル、アズワンチームの4点を大切にして欲しい。

◆三菱地所レジデンス 小野 真路社長

三菱社の時代から引き継がれてきた経営理念「三菱三綱領（所期奉公、処事光明、立業貿易）」を皆さんも受け継ぎ、大切にして欲しい。初めのうちはできないことばかりで、わからないことも出てくるだろう。わからないことはまず調べ、自分なりの考えを持ってから、多くの経験を積んでいる先輩に聞く。そういったプロセスを繰り返すことで、実力をつけ成長していくことを期待している。人間関係、交流を大切にし、自身の能力を磨きながら頑張って欲しい。